

世界へ発信!

北の縄文だより

vol.1



JOMON JAPAN

～みんなの知らない「JOMON World」～

社会教育課社会教育・文化財グループ (☎ 74-3010)

令和3年7月27日、洞爺湖町の入江・高砂貝塚を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されました。そこで、みなさんに知られざる縄文世界の魅力を紹介していききたいと思います。

世界遺産とは・・・?

そもそも、世界遺産とは何なのでしょう。

世界遺産とは、ヒトや自然が作り上げた遺産のなかで、世界中の人たちの宝物として守っていく必要がある貴重な文化財や自然のことです。

世界遺産には3つの種類があります。エジプトにあるピラミッドや今回登録された「縄文遺跡群」など、人がつくった建物や遺跡は「文化遺産」、アメリカにあるグランドキャニオンや北海道の知床など、特徴的な地形や風景を「自然遺産」といいます。さらに「文化遺産」と「自然遺産」の両方の価値があるものを「複合遺産」といいます。ペルーのマチュ・ピチュは複合遺産です。

世界遺産になるためには

世界遺産に登録されるためには、どのような価値があるのかをまとめ、将来にわたって保護をしていく体制を整えることが必要です。また、国から推薦できるのは毎年1件だけ、さらに世界中から集まった候補の遺



産を世界遺産委員会が厳しく審査し、そこで選ばれたものだけが新しい世界遺産として登録されます。「北海道・北東北の縄文遺跡群」はこうした条件を一つ一つクリアし、世界文化遺産に登録されたのです。

縄文遺跡群の価値

世界遺産は現在1154件あり、このうち文化遺産は897件です。この文化遺産のほとんどは歴史的に「農耕」が始まってからつくられたもので、農耕以前の先史時代の遺産は比較的少ないと言えます。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」はこの数少ない農耕

以前、先史時代の文化遺産です。北東アジア地域で、先史時代の社会がどのようなものであったかを伝える遺産として評価されました。

今回は「北海道・北東北の縄文遺跡群」が評価されたポイントを具体的に紹介していきます。



入江・高砂貝塚の歴史



入江貝塚

◀入江貝塚は縄文時代前期から後期の貝塚で、1942年に発見され、伊達高校郷土研究部や札幌医科大学によって発掘調査が行われています。筋萎縮症にかかった人骨や、木の棒で描かれた渦巻や波型の文様が特徴の「入江式土器」、鹿の角で作られた釣針などが発見されています。

▶高砂貝塚は縄文時代後期から晩期の貝塚で、1950年に発見され、伊達高校郷土研究部や札幌医科大学によって発掘調査が行われています。「屈葬」された人骨や、土偶、鹿の角で作られた銚先などが発見されています。



高砂貝塚